

ヒヤリ・ハット報告書

事業所名	ケアセンターめじろ	職種	介護士	氏名	福祉 太郎	
利用者	氏名	目黒 結紀菜	性別	女性	年齢	81歳
	生年月日	昭和13年10月16日	要介護度	要介護3	居室No	2階3号室
発生日時	2020年6月6日(土曜日) 9時50分(発見)					
既往歴	左大腿骨頸部骨折術後(R1.12) 認知症(H30) 糖尿病(H27) 統合失調症(H20)					
おかれている状況	<p>(経緯)：令和2年4月10日、ご家族と外出先にて転倒。目白総合病院に救急搬送され、左大腿骨頸部骨折の診断。そのまま入院となり、手術を受ける。術後のリハビリ開始するが、認知機能低下あり、理学療法士の指示入らず。車椅子(標準型)乗車可能な状態でリハビリ終了となり、5月26日退院。退院時、手すりに捕まり立位可。数歩程度の手引き歩行可。車椅子からの立ち上がり行為あり再転倒のリスク高いと評価され、病院では体幹ベルト、車椅子乗車時は、Y字帯による身体拘束を受けていた経緯あり。</p> <p>(退院後の状況)：退院同日より、ベッドからの起き上がり行為頻度があり、再転倒のリスクが高い為、カンファレンス実施しフロアから近い居室に転室。病院から施設と環境の変化による戸惑い、精神的に不安定な状態あり。再カンファレンス実施し、離床センサーを設置し動向の把握と確認を行うと共に、センサー反応時は速やかな訪室を心掛け、再転倒予防を行っている。</p>					
直前の行動	朝食時より、傾眠が強く、居室に誘導。臥床されていた。					
最後の巡視	9時、寝息をたてて入眠中の氏を確認している。(K介護士)					
ヒヤリハット内容	10時の水分補給の為、9時50分頃、離床の声掛けに訪室。ベッドに姿なく、居室内トイレに座っている氏を発見。下衣は下がりきっておらず、靴は履いていない。車椅子はベッド足下側45度に設置したままの状況から、ベッドから、壁を伝いトイレまでの3メートル程度を歩行したと推測する。歩いて来ましたかの問い掛けに「解りません」と返事あり。					
想定出来る事故	①ベッドからの転落。②歩行試み転倒。①、②共に転落、再転倒による骨折。					
原因	<p>①目が覚めた際、トイレに行きたくなくなった。</p> <p>②離床センサーの電源が入っていなかった。</p> <p>③入院後、認知症が進行。骨折術後であること、歩行出来ないことが理解出来ない。入眠中の扉の開閉で、覚醒されることが多い為、睡眠を妨げている。</p> <p>④ベッドの高さが高めだった為、立位がとりやすくなっていた。</p> <p>※新たな問題発生時は再カンファレンス実施。</p>					
今後の対応	<p>①食前後にトイレのお声かけ、誘導を行う。</p> <p>②臥床後、離床センサーの反応確認を行うことを全職員に再周知。</p> <p>③ご家族様に相談後、許可があれば居室扉を数cm開けさせて頂き、居室前を通る際、都度、危険がないか様子を観察する。</p> <p>④臥床時は、最低床とし転倒・転落による衝撃を緩和する。</p> <p>※○月○日、精神科往診時、Y医師に相談(睡眠状態、精神状態含む退院後の様子)</p> <p>※歩行時、ふらつきある為、個別機能訓練でトイレ動作訓練を計画に追加。</p>					

理事長	施設長	副施設長	ケアマネ	生活相談員	看護主任	介護主任